

全建発第27～047号
平成27年 5月18日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫

印省略

第614回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万3千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に負けない国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、PPPやPFIを活用した官民連携による社会資本の整備など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応じていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第614回建設技術講習会では、上水道行政では最新の上水道行政施策、水道の運営管理、省エネルギー技術などについて、下水道行政では最新の下水道行政施策、適正なストック管理、未利用エネルギーの活用、自然災害対策などについて最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳 夫
印省略

第614回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成27年9月2日(水)～4日(金)、山形市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、上水道行政では、最新の上水道行政施策、水道の運営管理、省エネルギー技術など、下水道行政では、最新の下水道行政施策、適正なストック管理、未利用エネルギーの活用、自然災害対策などについて最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は山形県・山形市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：一般（非会員） 18,400円
正会員・特別会員・賛助会員 13,400円
正会員（30歳未満〔全国〕、地元〔開催県内に勤務〕） 2,000円
正会員（開催県内の市町村に勤務、地元学生） 無料
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（30歳未満、地元）は割引価格のため取り消しはできません
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,600円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「614」をつけ加えて下さい
※振込手数料はご負担願います

⑦申込締切日：平成27年8月10日（月）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

| | | |
|---|----------------------|-----------------|
| ① | 平成27年8月21日（金）までの取り消し | 聴講料、現場研修料の全額を返金 |
| ② | 平成27年8月28日（金）までの取り消し | 聴講料、現場研修料の半額を返金 |
| | 上記②を過ぎてからの取り消し | 返金できません |

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

講習会情報については、全建ホームページもご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

第614回建設技術講習会(上水道行政の課題・下水道行政の課題)日程

～健全な水循環系の構築を図るための課題と具体の取り組み事例など、上下水道整備の最新施策や技術を学ぶ～

(上水道) 最新の上水道行政施策、水道の運営管理、省エネルギー技術 など

(下水道) 最新の下水道行政施策、適正なストック管理、未利用エネルギーの活用、自然災害対策 など

会場 …… 【合同/2日】下水道】山形テルサ(1階テルサホール)
 【2日】上水道】 ” (3階アプローチ)
 〒990-0828 山形市双葉町1-2-3 TEL023-646-6677(代)

| (1日目) | | 平成27年9月2日(水)【合同】テルサホール | | (敬称略) |
|--|--|---|-----------------------|-------|
| 12:40 } | あいさつ | 山形県知事 山形市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事 | 吉村美栄子 市川昭男 高沢清史 | |
| 13:00 } | 水環境改善に向けた取り組みについて | (独)土木研究所 水環境研究グループ水質チーム 上席研究員 | 岡本誠一郎 | |
| 14:10 } | 都市浸水対策について | 早稲田大学理工学術院創造理工学部 社会環境工学科 教授 | 関根正人 | |
| 15:20 } | 【特別講演】 東北大学における社会インフラの維持管理の 16:20 取り組みについて | 東北大学大学院工学系研究科 インフラマネジメント研究センター長 | 久田真 | |
| 16:30 } | 【地域事業の紹介①】 山形市松原浄水場における小水力発電事業に 17:00 ついて | 山形市上下水道部水運用センター 所長 | 石沢長栄 | |
| 17:00 } | 【地域事業の紹介②】 最上川流域下水道山形浄化センターにおける 17:30 再生可能エネルギーの取り組みについて | 山形県県土整備部下水道課 流域下水道主査 | 秋場修 | |
| 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:30～20:00(予定)) | | ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城B」 TEL023-628-1111 | | |
| (2日目) | | 9月3日(木)【下水道部門】テルサホール | | (敬称略) |
| 9:40 } | 下水道行政の最近の取り組みについて | 国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課 課長補佐 | 茨木誠 | |
| 10:50 } | 下水道施設における自然災害対策について | 国土交通省水管理・国土保全局下水道部 流域管理官付 水害対策係長 | 和田紘希 | |
| 13:00 } | 事業管理計画制度(仮称)について | 国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課 課長補佐 | 安田将広 | |
| 14:10 } | 下水道における未利用エネルギーの活用について | 国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道企画課 課長補佐 | 太田太一 | |
| 15:10 } | 閉会のあいさつ | 山形県建設技術協会長 (山形県県土整備部整備推進監兼県土整備部次長) | 會田秀一 | |
| (2日目) | | 9月3日(木)【上水道部門】アプローチ | | (敬称略) |
| 9:40 } | 水道行政の最近の取り組みについて | 厚生労働省健康局水道課 課長補佐 | 松田尚之 | |
| 10:50 } | 水道施設の耐震化について | 厚生労働省健康局水道課 課長補佐 | 近藤才寛 | |
| 13:00 } | 水道施設の環境・省エネルギー技術の取り組みに 14:00 ついて | 厚生労働省健康局水道課 復興第二係長 | 小仲正純 | |
| 14:10 } | 水道施設の維持管理について | (公社)日本水道協会 工務部 技術課長 | 石井美樹 | |
| 15:10 } | 閉会のあいさつ | 山形市建設技術協会長 (山形市まちづくり推進部長) | 齋藤則行 | |
| (3日目) | | 9月4日(金)【現場研修】 | | |

山形テルサ横駐車場(8:30)出発

- 最上川流域下水道 山形浄化センター(下車説明) → 山形市松原浄水場(下車説明)
- 昼食(山形市内) → 東北中央自動車道 三吉山トンネル工事・上山インターチェンジ(仮称)工事(下車説明)
- JRかみのやま温泉駅(15:40) / JR山形駅(16:15)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。

※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第614回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 最上川流域下水道 山形浄化センター 天童市大字大町

最上川流域下水道（山形処理区）は、最上川流域に位置する山形市、上山市、天童市、山辺町、中山町の3市2町の生活環境の改善及び水域の水質を保全するため、昭和58年に事業着手してから今日まで下水道整備を行い、平成25年度末現在、山形県の下水道普及率は74.6%（854,229人）、水洗化率89.4%（1,024,459人）まで整備された。普及率が増えるとともに処理過程で消費する電力と大量に発生する下水汚泥の処分の経費が掛かり、経費削減に取り組むこととなった。山形浄化センターでは、処理過程で発生する消化ガスを有効利用し経費を削減することとし、消化ガス発電システム（コージェネレーションシステム）を導入することとなり、平成25年度までにガスエンジン発電機（25kW）を12基導入し、300kWの発電を開始した。発電に加えて装置から排出される熱を回収し消化槽の加温などにも利用することで、場内で使用する電力の約36%を賄うことができた。これは一般家庭約740軒分の消費電力に相当し、温室効果ガスでは約1,366tの削減となっている。山形県では東日本大震災を契機に「山形県エネルギー戦略」を策定し、再生可能エネルギーの普及に取り組んでおり、当浄化センターの取り組みは大いに貢献しているところであるが、今後も消化ガス発電でのコスト削減を推進し、更に環境に優しい循環型の処理場を目指していくこととする。



2 山形市松原浄水場 山形市小白川町

平成23年3月に発生した東日本大震災を契機に、山形市では「再生可能エネルギー」の導入検討が行われ、市有施設で初めてとなる小水力発電施設が平成26年9月に山形市制施行125周年記念事業として松原浄水場に完成した。

この施設は、停電時でも水の自然流下で発電して水道水の安定供給が可能となるため、災害に強く、さらに松原浄水場内で使用するすべての電力量を賄えることで経費の節減にもつながっている。発電機はポンプ逆転方式の水車により、水源である蔵王ダムの導水管第4減圧井から松原浄水場着水井までの落差77mと36,000m³/日の水量をエネルギー資源として稼働している。平均出力は100kW（最大出力は140kW）で、年間発電量では約100万kWhを想定しており、一般家庭の約300世帯分の電力使用量に相当し、また年間約600tの二酸化炭素の発生を抑制することができる。この小水力発電施設は国の補助金を活用し総事業費約3億3,500万円を投じ建設された。



3 東北中央自動車道 三吉山トンネル工事・上山インターチェンジ（仮称）工事 … 上山市小穴～金谷

東北中央自動車道は福島県相馬市を起点とし、山形県内を經由して、秋田県横手市で秋田自動車道に連結する路線で、常磐自動車道・東北自動車道・山形自動車道と接続して南東北における高規格幹線道路網を形成し、地域間交流はもとより、緊急時における代替および迂回等のネットワーク強化を担う路線である。

山形県内の南陽高島IC～山形上山ICの区間（24.4km）は、橋梁が11橋、トンネルが7ヶ所あり、中間部の上山市内に国道13号と接続する上山インターチェンジ（仮称）が設置される。三吉山トンネルは延長が2,980mと長大トンネルであり、災害防止等のため掘削土は坑内をベルトコンベアで運搬している。上山インターチェンジ工事では長大切土工事（最大12段、高さ約80m、切土量約110万m³）に着手している。また、南陽高島ICの北側約3km部分、白竜湖周辺は有機質土・粘性土の軟弱地盤のため、最長で約90mの鋼管杭で橋梁を支え、さらに軟弱地盤内の水分を強制的に吸い上げて地盤を締固める「真空圧密工法」で施工中であり、同区間は平成30年度の開通を目指し工事が進められている。



第614回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には山形市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

| | | | |
|--------------------|-----------|---------------|------------------|
| 宿泊日の前日から起算してさかのぼって | | 当日 (宿泊開始前) | 宿泊開始後及び 無連絡不泊 |
| 4日前まで | 3～1日前(前日) | | |
| 無料 | 宿泊代金の20% | 宿泊代金の80% | 宿泊代金の100% |

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成27年9月1日(火)、2日(水)、3日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

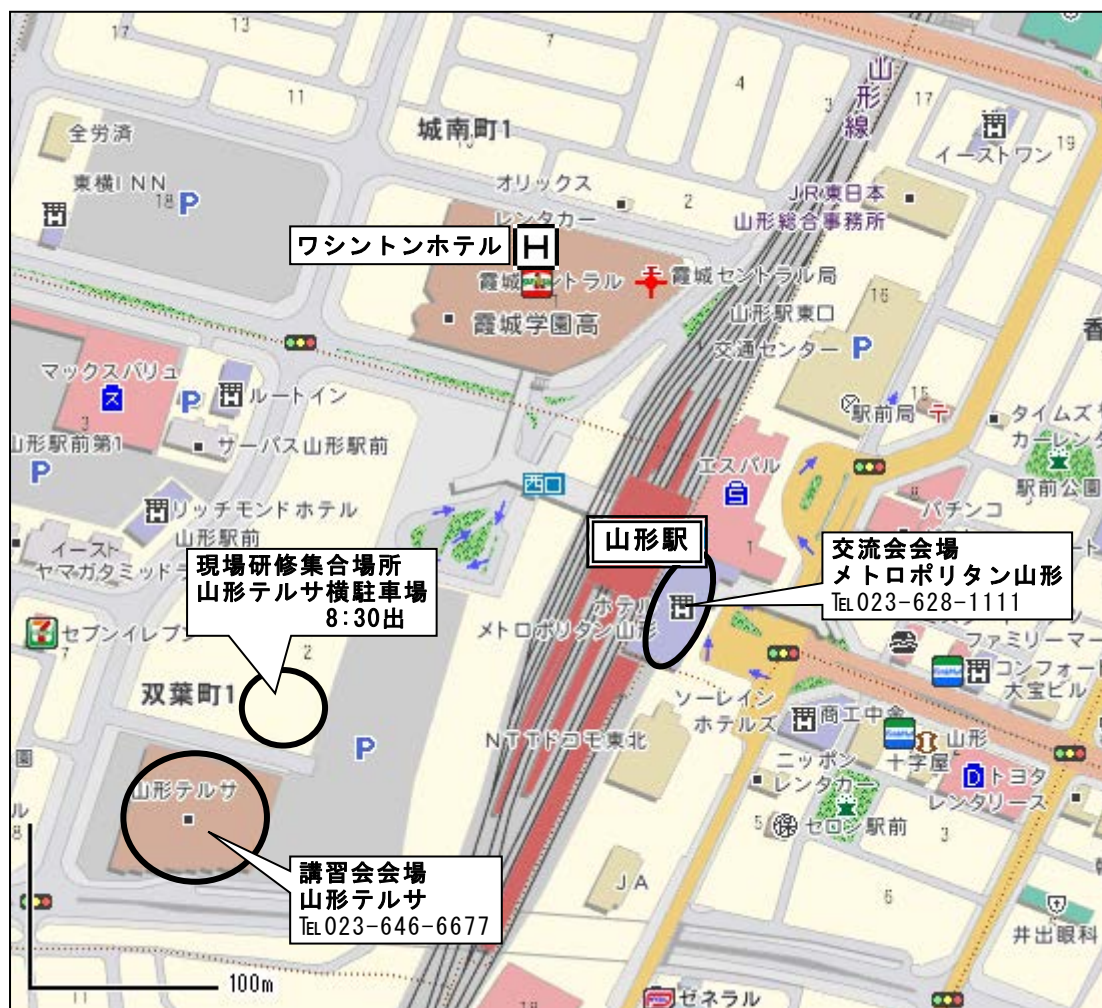
| 宿舎名・所在地・電話番号 | 部屋タイプ | 宿泊人数 | 宿泊代金 |
|--|-------|------|--------|
| 山形駅西口ワシントンホテル 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル24F Tel.023-647-1111 | シングル | 25名 | 7,500円 |

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

平成27年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第614回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

| 参加者 | | 勤務先 (所属課名まで記入のこと) | 聴講者別 | | | 部門別 | | 現場研修 | 交流会 | 宿泊申込 | | |
|--|----|----------------------|-------------|-------------|--------------------------|-------------|-------------|--|--|-------------------|----|--|
| (フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい) | 年齢 | | 一般 (非会員) | 正 会 員 | 正会員 30 歳 未 満 | 上 水 道 | 下 水 道 | | | 予約日に○を 記入して下さい | | |
| | | | | | | | | | 9月 1日 | 2日 | 3日 | |
| 1 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | |
| 聴講料 | | | | | | | | ↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※ | 宿泊代金は、 ホテルチェックイン 時に全額お支払 いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、 “○禁”、“○喫”の ように記入してく ださい。 | | | |
| 一般(非会員) | | 名×18,400円＝ | | | 円 | | | | | | | |
| 正会員・特別会員・賛助会員 | | 名×13,400円＝ | | | 円 | | | | | | | |
| 正会員(30歳未満、地元) | | 名×2,000円＝ | | | 円 | | | | | | | |
| ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(特別会員・賛助会員除く) ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 | | | | | | | | | | | | |
| 現場研修料 | | 名×7,600円＝ | | | 円 | | | | | | | |
| | | | | 計 | 円 | | | | | | | |

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第614回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成27年9月2日(水) 18:30~20:00(予定)
(第614回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所 : ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城B」

会費 : 2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会参加予定の講師】

- | | |
|----------------------------------|----------|
| ・早稲田大学理工学術院創造理工学部社会環境工学科 教授 | 関根 正人 講師 |
| ・東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター長 | 久田 真 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 課長補佐 | 茨木 誠 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 水害対策係長 | 和田 紘希 講師 |
| ・厚生労働省健康局水道課 課長補佐 | 松田 尚之 講師 |
| ・厚生労働省健康局水道課 課長補佐 | 近藤 才寛 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com